

総括質問

今定例会では、14人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。

各議員の詳しい質疑内容は、市議会ホームページの議会中継(録画放送)をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



6月 定例会概要

6/2~25・会期24日間

6月2日 本会議(第1日)

- ◎市長提出案件の上程
- ◎市長の所信表明、提案説明

6月11日~16日 本会議(第2~5日)

- ◎総括質問
- 6月18日・19日 常任委員会
- ◎18日 総務経済常任委員会
都市建設常任委員会
- ◎19日 環境厚生常任委員会
教育民生常任委員会

6月25日 本会議(第6日)

- ◎市長提出議案の表決
- ◎請願の表決
- ◎議員提出の会議案の上程、表決

清風クラブ



選ばれるまちの実現 人口政策の具体策について

数田 俊樹 議員

問 本市の人口は平成22年11月の26万863人をピークに減り続け、27年5月現在25万6533人と日々減少傾向であり、人口政策を図っていく必要がある。市長は所信表明において「子育て世代から選ばれるまち」を指し、子育て支援策や教育環境の充実を図ると述べており、認定こども園や民間保育所の施設整備によって待機児童の解消に取り組むということであるが、認定こども園の整備の状況と今後の方向性を伺う。

市長 整備状況として、モデルケースとして進めている(仮称)港地区認定こども園については今年度中に工事発注し、平成29年4月の開園を目指している。市内の私立幼稚園の認定こども園化については、今年3月に1園が幼保連携型認定こども園として運営を開始し、現在、1園が今年度中の幼保連携型認定こども園化を目指して施設整備を進めている。今後、待機児童対策の一つとして、私立幼稚園にも認定こども園化に取り組んでほしいと考えている。しかし、制度の過渡期で施設整備のための補助金の先行きが不透明なこともあるので、今後の制度がどうなるのか動向を注視していきたい。

問 民間保育所の施設整備の支援策について具体的に伺う。

市長 平成21年度以降の民間保育所の施設整備については、国が支出した原資を県が基金として運用する「安心こども基金」を利用して進めてきた。この補助金の対象年度は毎年延長されてきたが、子ども・子育て支援新制度が施行された

ため、今後も施設整備に関する同様の補助金があるのか、はっきりしない状況である。これについても国の制度の動向を注視しながら、制度の趣旨に応じて、待機児童への対策を含めて民間保育所の施設整備の推進に努めていく。

問 小児医療費の助成について、小学校6年生までとなっている自己負担の無料化を中学校3年生までに拡大するかどうか。

市長 これから財源をはじめ、システム改修の必要性などさまざまな課題を検討していく。実施時期については、任期中の早い時期に実現したいと考えている。費用については、現在と同じように所得に応じて実施した場合は1億2千万円程度、所得に関係なく実施した場合

大するということだが、今後のスケジュールを伺う。また、所得制限を設けた場合と設けない場合について、予算にどれくらい差が出ることになるのか。

市長 小児医療は市長のマニフェストに当たると認識している。財政状況が厳しいというのとは分るが、「子育て世代に選ばれるまち」を大きな旗印に掲げ、その中でも小児医療費の助成対象の拡大をマニフェストとしてうたったからには「任期中の早い時期に実施する」というのではなく、今年度中にスタート、もしくは28年4月の時点でスタートできるように、早急に準備

を進める必要があるのではないかと。また、将来世代の財政負担に配慮した市債の発行に加え、国や県の補助制度を積極的に活用していく。歳出では「選択と集中」の視点に立ち、事務事業の見直しにより経費削減に努め、持続可能な財政基盤の確立を図りたい。

問 歳入に対し、歳出のバランスはどのようにとって



新年度の予算編成から 各施策の展望について

坂間 正昭 議員

問 政策的な施策を実施するに当たり、財政基盤をどう確立していくのか。

企画政策部長 歳入では市税などの収納率の向上や受益者負担の適正化を図り、施設整備保全基金を活用するなど、あらゆる観点から

た場合は2億円程度の増加になる。

問 小児医療は市長のマニフェストに当たると認識している。財政状況が厳しいというのとは分るが、「子育て世代に選ばれるまち」を大きな旗印で掲げ、その中でも小児医療費の助成対象の拡大をマニフェストとしてうたったからには「任期中の早い時期に実施する」というのではなく、今年度中にスタート、もしくは28年4月の時点でスタートできるように、早急に準備

いるのか。

企画政策部長 経常的経費は枠配分方式とし、各部の中で事業に優先順位をつけ、創意工夫して予算を編成している。政策的経費は、財政課が一件ずつ審査してその必要性を確認している。

企画政策部長 施設の有効活用のために検討すべき方策であると考えている。

問 公共施設等総合管理計画を策定する考えはあるのか。

企画政策部長 公共施設の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策は喫緊の課題であり、一元的把握、長期的視点に立った老朽化対

常生活を営むことができると考えている。しかし、各組織では、システムが必要だという認識は共有しているものの、組織として構築に向けた活動までには至っていないことが課題である。現在、市では医療連携懇話会を立ち上げ、連携に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。

問 (新)地域リハビリテーション活動支援事業について、地域における健康チャレンジの取り組みの機能強化の構想を伺う。

副市長 心身機能の回復だけでなく、生活環境の調整や、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるような居場所と出番づくりなど、バランスのとれたアプローチが必要である。事業では、理学療法士などのリハビリテーション専門職を活用し、高齢者の自立支援に向けたケアプランなどのアドバイス、高齢者の通いの場での運動指導などに取り組んでいく。

このほかの質問 地域コミュニティについて 自然災害対策について

た場合は2億円程度の増加になる。

問 小児医療は市長のマニフェストに当たると認識している。財政状況が厳しいというのとは分るが、「子育て世代に選ばれるまち」を大きな旗印で掲げ、その中でも小児医療費の助成対象の拡大をマニフェストとしてうたったからには「任期中の早い時期に実施する」というのではなく、今年度中にスタート、もしくは28年4月の時点でスタートできるように、早急に準備

複合化や相互利用は、利用者の利便性や効率性、財政負担の軽減に効果があるのではないかと。

企画政策部長 施設の有効活用のために検討すべき方策であると考えている。

問 公共施設等総合管理計画を策定する考えはあるのか。

企画政策部長 公共施設の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策は喫緊の課題であり、一元的把握、長期的視点に立った老朽化対

策の推進、トータルコストの削減に向けて、庁内関係課で協議を行い、計画の策定を進めていく。

地域包括ケアシステムの構築について

問 地域包括ケアシステムの構築に向けた、連携する支え合いの仕組みづくりと課題を伺う。

副市長 支え合いの仕組みづくりは、生活支援や予防サービスの充実を図るために、市民が自主的に参画し、地域社会での役割を担いながら、地域各種団体、医療機関、介護サービス事業者や高齢者よる相談センターなどと市とが一体となって、地域包括ケアシステムの構築を進めていくことである。各地域でいろいろな社会資源を活用し、受け入れの体制を築くことで、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日

を進める必要があるのではないかと。

市長 実際のところ、現在、担当の部署に具体的な検討の指示をしている。最終的には議会の議決が必要だが、今年度中に方針を検討して、来年度の早い時期には実施できるような方向で考えている。

このほかの質問 統一地方選挙を終えて 選ばれるまち、住み続けるまちの実現 選択と集中の考え方と実現のための戦略

公共施設の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策は喫緊の課題であり、一元的把握、長期的視点に立った老朽化対

常生活を営むことができると考えている。しかし、各組織では、システムが必要だという認識は共有しているものの、組織として構築に向けた活動までには至っていないことが課題である。現在、市では医療連携懇話会を立ち上げ、連携に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。

問 (新)地域リハビリテーション活動支援事業について、地域における健康チャレンジの取り組みの機能強化の構想を伺う。

副市長 心身機能の回復だけでなく、生活環境の調整や、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるような居場所と出番づくりなど、バランスのとれたアプローチが必要である。事業では、理学療法士などのリハビリテーション専門職を活用し、高齢者の自立支援に向けたケアプランなどのアドバイス、高齢者の通いの場での運動指導などに取り組んでいく。

このほかの質問 地域コミュニティについて 自然災害対策について



議 長 ダ イ ア リ

平塚市議会議長 府川 正明

議長の出席した主な会議などをお知らせします。(6月~7月)

- 6月1日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会
- 6月17日 全国市議会議長会定期総会
- 6月29日 相模川整備促進協議会
- 7月10日 全国市議会議長会社会文教委員会、湘南地方市議会議長会
- 7月14日 鈴川改修整備促進協議会
- 7月16日 全国競輪主催地議会議長会定期総会・関東甲信越静部会定期総会
- 7月22日 3市3町広域行政推進協議会総会
- 7月29日 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会要望活動